

3人わかってくれる人がいれば 大丈夫

～こども・若者が孤立しない地域をつくるために～

ひとりにしない

気にかけてくれる大人

居場所

学びと体験

家庭のちがい

つながり



日時 令和8年 **9月8日** (火) 15:30～17:15



会場 北上市保健・子育て支援複合施設 **hoKko ふれあいホール**



参加費 **無料**

お申込みは右のQRコードから
(または担当課まで直接)

※定員(80名)に達し次第終了

申込みはこちら



<https://logoform.jp/f/0LtT8>



講師

井村 良英 さん

認定NPO法人 育て上げネット 参与

学校になじみづらさを感じる小学生から、定時制・通信制高校生、少年院等から仮退院する若者まで、こども・若者と社会をつなぐ実践を重ねています。



参加前に読んでいただきたい記事と「事前のお願い」があります。
くわしくは**裏面**へ。

3人わかってくれる人がいれば 大丈夫

令和8年 9月8日（火）15:30～17:15 | hoKko ふれあいホール

当日の内容

● 北上市のこどもをめぐる状況の共有

● 井村さんのお話

● 参加者の対話の時間



それぞれの立場から、
いまできることを持ち寄る時間です

今回のテーマについて

昨年度の北上警察署管内の非行少年等検挙・補導人数は前年から2.5倍となる104名、刑法犯・特法犯少年も35人とこの数年の平均から3倍の状況となっています。

こどもの周辺環境は、新型コロナの影響、部活動の在り方の変化、スマホ等の情報端末等の扱い方等、大きな変化が続いている現状です。また、こどもたちが選択することのできない「家庭環境」により、学習機会や体験機会が失われたり、親から非行行為に誘導されてしまうケースすらあります。

特別な誰かでなくても大丈夫です。身近に「わかってくれる人」がいること、居場所やゆるやかなつながりがあること。それぞれの役割の中でできることを、みなさんと一緒に考える時間とします。

講師プロフィール



井村 良英 さん

認定NPO法人
育て上げネット 参与

“

みなさま、はじめまして。井村良英と申します。
このたびはハブラボきたかみで皆様と一緒できること、光栄に感じております。
いただいたメッセージは講義内容の参考にさせていただきます。
どなたからのメッセージかはわからないようにして紹介しますので、
ご安心ください。お会いできることを楽しみにしております。

”

1999年から2001年まで淡路プラッツにて引きこもりの若者の自立を支援。大阪生涯職業教育振興協会にて識字教室や職業訓練の運営を担当し、2003年、日本で初めて公的機関での無料の若者支援を開設。2007年から現職。育て上げネットは2023年に内閣総理大臣表彰を受賞。現在は、少年院等から仮退院する若者や定時制・通信制高校生の進路支援、学校になじみづらさを感じる小学生の理解者づくりなど、こども・若者と社会をつなぐ活動を行っています。

事前のお願い

（できる方のみ・任意）

当日の参加が難しい方も
ぜひ読んでください。

※ こちらを送信しなくても
お申込みは可能です。

講師の井村さんの記事を読んで、一番印象に残ったところとその理由を教えてください。
また、こども・若者が孤立しない地域をつくるために、日々行っていること、仲間がいれば
やりたいと思っていることについて教えてください。 **締切：8月31日（月）17時まで**

① まず記事を読む



カタリバマガジンの記事
<https://www.katariba.or.jp/magazine/article/kodomo-kaigi260605/>

② 送信フォームへ



事前のお願い
メッセージ送信フォーム
<https://logoform.jp/f/4h7cj>

ハブラボきたかみとは



地域の課題は複雑・多様化し、一人の支援者や一つの組織だけでは対応が難しくなっています。
ハブラボきたかみは、分野や所属を超えた人々が集い、対話を通して互いの強みや課題を知り、
「顔の見える関係」を育む場です。

困ったときに思い浮かぶつながり（ハブ）を地域に増やしていきます。